

# PTAの活動紹介 第5回

## 苦労も楽しみながら取り組む PTA活動 ～東京都立北園高等学校PTA～

### 東京都立北園高等学校

- 昭和3年 東京府立第9中学校として開校
- 昭和25年 東京都立北園高等学校に校名変更
- 生徒数/956名、24学級
- 校長/杉本 悦郎

東京都立北園高等学校は昭和3年に開校し、来年度には創立90周年を迎える伝統校です。国際理解教育について積極的に取り組んでおり、第二外国語に力を入れています。校内には生徒が作成したロシア語などの掲示物が数多く貼られています。

今回は、食堂の運営や研修旅行などの企画・運営を、委員会ごとに力を合わせ、楽しみながら取り組む、東京都立北園高等学校PTAの活動を紹介します。

### ○“自発的”に参加するPTA活動

北園高校PTAには八つの委員会(常任委員会、役員会、1学年委員会、2学年委員会、3学年委員会、広報委員会、食堂委員会、選考委員会)が設置されています。年度の初めに各学級からそれぞれの委員会に2名ずつ、計128名の委員が選出されます。選出する際には、事前に会長自らがPTAの活動内容について説明し、各委員会の楽しさや魅力を保護者に伝えます。選出する委員の数は多いですが、今年度の1学年保護者はジャンケンなどで決めるのではなく、全員が“自発的に”委員になりました。そういうことから、各委員会活動の雰囲気はとて良く、活動が忙しいときでも、お互いのことを尊重し合い、個人の予定なども優先してくれるとのことでした。



広報委員会の打合せ風景



ランチの予約をする生徒たち

### ○PTAが運営する食堂「ZONoyA」

北園高校PTAが行う特徴的な取組の一つが、食堂の運営です。定時制が廃止された後、利用されていなかった食堂スペースでPTAが運営を開始しました。調理等は民間業者に委託をし、PTAは食堂委員会等が中心となり、新入生向けの試食会や、無料チケットの配布、保護者がランチのメニューを試食する「ZONoyAランチ会」の企画運営などを行っています。昼休みの時間みの営業ということもあり、学生の利用者数は、1日60名から70名程度ですが、この3年間は、試食会実施の時期を早めるなど、生徒が食堂に親しむための工夫をしたことで、利用者数が増えています。

今回の取材は食堂で行ったため、取材中も、生徒たちがランチの予約をしようと長い列を作っている様子を伺うことができました。このような生徒たちの姿を見ながら、「食堂運営は苦労することも多いですが、生徒たちの姿を見るとやめられない」と会長は笑顔で語ってくれました。

### ○生徒が活動してきた現場を訪ねる宿泊研修

北園高校PTAが行うもう一つの特徴的な取組が、「PTA信州研修旅行」です。2年生が「森林保全奉仕合宿」として3日間過ごした地を、保護者が訪問する取組で、2学年委員会が企画・運営を行っています。昨年度は37名が参加しました。参加者は生徒が植樹や間伐整備を行った現場を訪ねることにより、生徒たちがどのように活動してきたのかなどを肌で感じることができます。また、生徒がお世話になった現地の方々との交流も図っていきます。1泊2日の研修を通じて、保護者たちは、いかに生徒が現地の人から支えられて活動を行っているのかを実感するとともに、保護者同士のつながりもより一層、深まっていくとのことでした。



PTA信州研修旅行の集合写真

北園高校PTAでは、今回紹介した食堂の企画・運営や研修旅行の他にも様々な活動を行っています。会長は「現在行っている活動は、PTAの先輩たちが、子供たちのためにという“想い”を持って実施してきたものです。その“想い”を引き継ぎつつ、昨年よりもよい活動を行っていききたい」と力強く語っていただきました。様々な方々の“想い”が負担となって“重い”にならないように、苦労も楽しみつつ、協力し合いながら活動を続けていることが、北園高校PTA活動の魅力となっています。

東京都立高等学校PTA連合会は、全都のPTA会長会を開催するほか、都内の6つある地区ごとに会長会や情報交換会、交流会を開催しています。東京地区高等学校PTA連合会大会を開催したり、広報誌コンクールを主催し、各校PTA活動の後押しや高校教育の振興を応援しています。